

ピンクリボンNEWS

2023年度

春号

Vol.12 No.1

発行人 認定NPO法人 J.POSH

編集 ピンクリボンNEWS 編集委員会

発行所 J.POSH事務局〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2丁目6番3号 TEL.06-6962-5071


J.POSH
日本乳がんピンクリボン運動®

TOPICS

グローバル時代の 乳がん患者サポート



Japanese SHARE

臨床アドバイザー

一般社団法人 BC Tube 理事

たはら りえ
田原 梨絵

皆さんがもし海外に住んでおり、異国の地で乳がんの診断を受け、治療を受けることになったら、どれほど不安な状況になるか想像できますか？海外に住む日本人の増加と共に、医療システムと言語が異なる国で乳がんの治療を受ける日本人の患者さんが数多くいます。

■ アメリカ在住日本人乳がん患者サポート

私が臨床アドバイザーを努めております Japanese SHARE はアメリカ在住の日本人乳がん患者さんをサポートする非営利の患者支援団体です。母体は SHARE-USA という組織で、全米の乳がん・婦人科がん患者さんを支援しています。アメリカで暮らす日本人は約50万人と言われ増加傾向であり、アメリカで乳がんと新たに診断される日本人の患者さんが全体で毎月どれくらいいるのか把握できておりませんが、毎月数名の方から Japanese SHARE のヘルプラインに連絡をいただいています。月に1回開催しているオ

ンライン患者サポートミーティングには全米から患者さんが参加され、様々な悩みを分かち合っています。乳がんと診断され医師から説明を受ける際、患者さんにとっては日本語でも理解が難しい面が多々あります。日本とは医療システムが全く違う異国の地で乳がんの診断を受け、英語で医療者とコミュニケーションを取り、治療を受ける過程において、医師の説明が通訳を通して理解できない、治療方針に納得できないまま治療が組み立てしまった、など様々な困難が生じるのが現状です。また、このままアメリカで治療を受けるか、日本に帰国して治療を受けた方がいいか悩まれる患者さんも多く、多方面からサポートを行なっています。コロナ禍で開始したオンライン勉強会では乳がんに関するものだけでなく様々な医療トピックスの勉強会を行っており、日米はもちろん世界中から100人～300人が参加され、アメリカ在住者に限らず誰にでも役に立つ医療情報の発信も行なっています。



■ 海外在住日本人への医療支援

また、外務省の調査によると、令和3年度の時点で海外在住日本人は約134万人に至ります。コロナ禍において海外渡航が制限

され、私のような海外在住者は通常であれば一時帰国して日本の医療機関を受診するような場合でも滞在国で医療を受けざるを得ない状況に陥りました。日本と比較すると医療体制が十分ではない国に在住している日本人も多く、日本と医療事情が異なる海外において医療面での不安が高まった海外在住日本人に対して、外務省が2022年2月～3月の2ヶ月間、「海外在留邦人向けオンライン医療相談・精神カウンセリング提供事業」を無料で提供しました。私は乳腺外科の相談担当医として事業に参加し、私が担当しただけでも2ヶ月間で約100人から相談を受けました。アメリカだけではなく世界中いろいろな国で乳がんと診断され、中には英語以外の現地語という言葉の壁や医療レベルの低さという不安を抱えながら異国の地で治療を受けている日本人の患者さんが数多くいることを痛感いたしました。この経験から、アメリカだけではなく、世界中に住んでいる日本人乳がん患者さんへの手を差し伸べることができるサポート体制を広げていく予定です。



■ 在留外国人の乳がん患者サポート

さらに、日本国内に目を向けると、在留外国人数は約270万人おられ、日本で乳がんを診断される外国人も相当数いることが予想されます。日本人が海外で乳がんの治療を受けると同様に、日本に住む外国人にとっても異国の地でのがんの診断・治療は様々な困

難が伴うことでしょう。そのような患者さんのためのサポートとして、「Breast Cancer support meeting in English」を2023年3月から開始します。患者さん同士で英語で心情や情報を分かち合い、日本での治療に少しでも役に立つ場を提供できればと思っております。



これらの患者サポートと共に、一般社団法人BC TubeやInstagramでの乳がんの情報発信など、多方面から日本人の乳がん患者さんを支える活動を行なっています。海外に住む日本人乳腺科医として微力ながら自分でできることを一つ一つ大切に行い、世界中に住んでいる不安を抱えた患者さんや家族にとって架け橋となれるよう、これからも精進していきます。サポートが必要な海外在住の患者さん、あるいは日本在住の外国人の患者さんがおられましたら、直接ご連絡をいただければと思います。

田原 梨絵(たはら りえ)：アメリカ在住(在米8年)。2004年北海道大学医学部卒業。仙台医療センターで初期研修後、聖路加国際病院にて乳腺外科レジデント、浜松オンコロジーセンター乳腺科、亀田総合病院乳腺科に勤務。2014年渡米、ダナ・ファーバー癌研究所 Research Assistant、MDアンダーソン癌センター Research Intern。現在Japanese SHARE 臨床アドバイザー、一般社団法人BC Tube 理事。

4年目迎えたシッターサポート、累計で148件

「乳幼児を育てながら抗がん剤治療、あるいは放射線治療を受けている乳がん患者さんのために、お子さんの一時保育に係る費用の一部を補助しましょう」と始めた『シッターサポートプログラム』が今年で4年目を迎えました。2019年10月に開始して以来延べ支給件数は累計で148件に達しています(23年3月現在)。

受給された皆様からはこんな声が寄せられています。「遠方の実母に何回か来てもらう交通費に使わせて頂きました。待機児童の多い地域で一時預かりもなかなか難しかったので、お金の



支払先を限定されない援助は本当に助かりました」。「2歳と0歳の息子がいながらの治療でしたが、コロナ禍と治療が重なり公共施設にはなかなか頼れませんでした。幸いにもシッターサポートを受給でき、仕事を休んでまで子守や家事をサポートしてくれた親せきや友人にお礼として使わせて頂きました」。「抗がん剤治療を受けた前回に続き、放射線治療を始めた今回2度目の支給援助を受けました。下の子はまだ0歳ですがサポート援助のおかげで一時預かりサービスを気軽に利用させて頂いています」。「コロナ禍で出産し、実家も遠い。夫以外に頼れる人もなく、二人で育児をしていくことに体も精神面も大きな不安がありました。そんな時インターネットでシッターサポートを知り、受給することができ、『人に頼れる』という安心感をもって治療に臨めたのがとても心強く有難かったです。このサポートに頼らせて頂きながら最後まで頑張り続けたいと思います」。

乳幼児を育てながら乳がん治療を続ける若いママさんたちへ。受給を受けている(いた)みなさんは、J.POSHのこのプログラムをどのようにして知ったのでしょうか。「病院で主治医から教えて頂きました」。「抗がん剤治療中に担当の認定看護師さんに教えて頂きました」。「区役所で未就園児の保育が家庭内で困難と伝えた際、シッターサポートプログラムの用紙を持って来られて教えて頂きました」。「J.POSHさんのホームページで知りました」。「病院のがん支援センターで見つけたチラシがきっかけです。受給が決まった時は、まるで知らない誰かから突然『治療と子育て、頑張り!!』と応援メッセージが届いたような嬉しい気持ちになりました」。

また、この助成を受けられた多くの方は「こんなにありがたい助成金の事を、同じ境遇のママさん達にもっと知らせてあげて下さい。」と綴られています。同じ境遇で困っている人達にも、この恩恵を分かち合いたいとの思いと、どれだけ不安で、しんどい思いをされていたのかが伝わってくる言葉です。



●シッターサポートプログラム

【対象者】

- ・母親本人が乳がんの抗がん剤治療中(内服薬のみの場合は除く)、あるいは放射線治療中。
- ・養育中の乳幼児1名以上が、保育園や幼稚園に通っていない。

【応募条件】以下のどちらかに該当すること

- ・2か月以内に乳がんの抗がん剤治療、あるいは放射線治療を開始。
- ・乳がんの抗がん剤治療中で、残り回数が1回以上、放射線治療で残り1週以上。(申し込み時点の日付に基づく)

【補助内容】

- ・助成額は、抗がん剤治療の平均的期間の6ヶ月間に1ヶ月一律1万円とし、一括で6万円を支給。
- ・放射線治療の場合も、助成額は同額の6万円とする。

J.POSHオフィシャルサポーター

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)を通じてピンクリボン運動をご支援いただいている企業・法人・など各種団体の一覧です。

 <p>東京海上日動 あんしん生命</p>	 <p>yoga works ここちいいヨガ、ここから。</p> <p>有限会社ヨガワークス</p>	 <p>international Frau</p> <p>株式会社フラウ・インターナショナル</p>	<p>プロポーショナルづくりのダイアナ</p>  <p>Diana Solution for Life</p> <p>株式会社ダイアナ</p>	 <p>バルーガクリニック BELLUGA CLINIC</p>
 <p>JRM JAPAN RISK MANAGEMENT</p> <p>ジャパンリスクマネジメント株式会社</p>	 <p>M+TC Mammoplus TAKEO CLINIC</p> <p>医療法人健優マンモプラス竹尾クリニック</p>	 <p>医療法人医誠会 Healix Group</p>	 <p>日産プリンス山梨</p>	 <p>JA三井リース</p>
 <p>スルガ銀行</p>	 <p>TAKAZONO 株式会社 タカゾノ</p>	 <p>NISSAN</p> <p>日産プリンス茨城</p>	<p>NATURAL WIG</p>  <p>シャポード</p>	 <p>Benefit Station</p> <p>株式会社ベネフィット・ワン</p>
<p>ノイエス株式会社</p>	 <p>イルスメディカ名古屋</p>	 <p>SOLUTION for your life ... for your business ...</p> <p>株式会社オフィストゥワン</p>	<p>人も地球も健康に</p>  <p>Yakult</p> <p>株式会社ヤクルト本社</p>	 <p>TOKYO SOIR 東京ソワール</p>
 <p>高木金属工業株式会社</p>	 <p>中部飼料株式会社 CHUBU SHIRYO CO., LTD.</p>	 <p>朝日生命</p>	 <p>品川美容外科</p>	 <p>SUNTORY SUNTORY FLOWERS LIMITED サントリーフラーワーズ株式会社</p>
<p>社会医療法人財団 池友会 福岡和白総合健診クリニック</p>	 <p>株式会社J-Kyofu</p>	 <p>京都奉製株式会社</p>	 <p>3A-life</p> <p>スリーエー・ライフ株式会社</p>	 <p>JFR CARD JFR GROUP</p> <p>JFRカード株式会社</p>
<p>日産プリンス 札幌販売株式会社</p>	 <p>ルノン株式会社</p>	 <p>サカタのタネ</p>	<p>(株)コープデリ保険センター</p>	 <p>JML 中日本 INK</p> <p>中日本メディカルリンク株式会社</p>
 <p>hugge bridal sweet and luxurly bridal inner</p> <p>株式会社ローズ・サプライ</p>	 <p>Dafum 株式会社くわこや</p>	 <p>JAPACK'S</p> <p>株式会社ジャパックス</p>	 <p>fit me</p> <p>フェザー株式会社</p>	<p>笑顔と感動の架け橋を</p>  <p>CEHR'S good healthy life</p> <p>株式会社シールズ</p>
 <p>T-PEC</p> <p>ティーベック株式会社</p>	 <p>RITSUBI LEADING BEAUTY INNOVATION</p> <p>株式会社リツビ</p>	 <p>大木産業株式会社</p>	<p>Activate Power of Fashion</p>  <p>iDA</p> <p>株式会社 iDA (アイ・ディ・エー)</p>	<p>ビーンスターク</p>  <p>Bean Stalk</p> <p>雪印ビーンスターク株式会社</p>

 美しく、大人を生きる。 WIG YUKI SINCE 1975	 YONESAKA ESTHETIC GROUP 米坂エステティックグループ	 heartpia は〜とびあ 新潟日産モーター	 暮らしを変える、明日を変える 株式会社エル・ローズ	 HEAVEN Japan 株式会社HEAVEN Japan
 GUNZE グンゼ株式会社	 THE WORLD THE WORLD株式会社	 M ミドリ安全 ミドリ安全株式会社	 日本製紙株式会社	 伸栄商事株式会社
 VIATRIS ヴィアトリス製薬株式会社	 KOSHIN 高信化学株式会社	 CO・OP 日本生活協同組合連合会	 Eternal エターナル株式会社 エターナル株式会社	 Eternal エターナル株式会社 エターナル株式会社
 WACOAL 株式会社ワコール	 MEDLINE メドライン・ジャパン合同会社	 旭川 リハビリ テーション 病院 旭川リハビリテーション病院	 ヘルサント スタッフ株式会社	 HRC 株式会社HRC
 けやき美容クリニック沼津院 KEYAKI BEAUTY CLINIC NUMAZU	 MT METATRON MTコスメティクス株式会社	 P 24h EcoPark エコロシティ株式会社	 KITAZATO 株式会社 北里コーポレーション	 scrool 株式会社スクロール
 Natu Wig ティーライフ株式会社	 あなた色に輝く日々を なないろ生命 朝日生命グループ	 COOP TOHOKU 株式会社コプ東北保険センターあおり支店	 ニチモウバイオティクス株式会社	 明治安田生命
 社会医療法人 潤仁会 岡山中央病院	 学校法人 医学アカデミー	 snovə 株式会社スノーヴァ	 NISSAN 滋賀日産	

J.POSHオフィシャルパートナー

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)を通じてピンクリボン運動をご支援
 いただいている営利を目的としない患者会・協会・組合・などの各種団体の一覧です。

 乳がん患者会「関西ひまわりの会」	 神和温泉 神温泉郷 温泉観光局	 藤沢ラグビー蹴球倶楽部	 JKK 女性経営者の会 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 女性経営者の会	 Kyoto Kumfu Lions Club 京都薫風ライオンズクラブ
塩原温泉旅館協同組合 女将の会	 JGA Japan Gisei deen Association establish 2012 一般社団法人日本グリーデコ協会	 BISHUETSU ASSOCIATION 一般社団法人日本美姿勢協会	 Saiyouji 最明寺 川越市 最明寺	 JHA NPO法人日本ハウスクリーニング協会

株式会社ジャパックス ポリ袋一筋に25年 ～J.POSHサポーター11年、売り上げに応じ寄付～




株式会社ジャパックス(東京都千代田区、大木武司代表取締役社長)は、ポリエチレン製ゴミ袋、フィルム、ショッピングバッグなどのプラスチックフィルム製品全般の製造、販売及びこれらの商品の輸出入を展開。アジアを中心に7カ国35工場と提携し高品質で高い競争力をもった迅速な商品提供態勢をとり、他社の追随を許さない経営モデルを確立。自社製品はもとよりOEMにて他社のオリジナル商品まで幅広く提供していらっしゃいます。海洋プラスチックによる環境汚染問題などが世界的に注目される中、『美ら海を守るポリ袋』を開発するなど、環境に配慮した製品の開発にも大きな力を入れていて、プラスチックの可能性を追求されています。今年8月に創業25周年を迎える同社。J.POSHのオフィ

シャルサポーター歴は12年目を迎えました。

業務用や一般家庭用の様々な容量のスタンダードポリ袋を始め、レジ袋、傘袋、水切りネット、サニタリーパック、フリーザー用ポリ袋など多品種のプラスチック製品を製造し販売する同社は、カントリーリスクの分散とコスト低減化を狙いとするグローバル化戦略が経営の大きな柱。こうした経営方針が軌道に乗り安定した売上高を堅持されています。

会社としてピンクリボン活動を始めるきっかけとなったのは、社として何か社会貢献活動をしなくてはと模索していた時のこと。「ネットを

検索していたら目に飛び込んできたのがJ.POSHさんのロゴマーク 。弊社の容量表示入りのゴミ収集袋の容量を表す『ℓ』が酷似していたことです。J.POSHさんが幅広く乳がん啓発を続けられていることに共感を覚え、加えて弊社の従業員の半数以上が女性であることなども踏まえて即サポーター申請させていただきました」(大木武司社長)。同社はJ.POSHのリボンマーク入りゴミ袋をはじめ、サニタリーパックや水切りネットの商品パッケージにもロゴを入れたピンクリボンモデルを販売しており、「ピンクリボン活動に関心をもっておられる企業などで継続的に大量購入してくださ



ピンクリボンマーク入りの商品 写真右下のゴミ袋ピンクリボンモデルの45ℓ、70ℓ、90ℓの3種はJ.POSHグッズパークより購入可能です(右QRコード)



る事業所も少なくない」(同)ということです。

これらのピンクリボンモデル商品の売上に応じた金額をJ.POSHにご寄付して頂いています。120人の社員の内、70人が女性という女性比率の高い企業だけに、乳がん検査費用の会社負担を行っているほか、「J.POSHピンクリボン検定」の“受検”推奨など、ピンクリボン運動に対する社内意識の高揚も図っておられます。

『ご遺産からのご寄付』につきまして

近年、ご遺産からのご寄付のお問合せを頂くことがありますので、この紙面において、ご遺産からのご寄付『遺贈、及び相続財産からのご寄付』について、ご説明させていただきます。

遺贈とは、遺言によってご自身の財産の一部またはすべてを個人や法人に贈与することをさします。生前に遺言書にご自身の遺産をどのように使ってほしいと考えておられるかを明記し、ご自身で遺贈先と金額を指定しておくことができます。この場合は「専門家」にご相談の上、法的に有効な遺言書の作成が必要となります。（※一般的な遺贈のながれにつきましては、下記の表をご参照ください。）

また「相続財産からのご寄付」につきましては、相続を受けられた方ご自身の想いで、法人などに寄付をすることであり、寄付先が認定NPO法人などの場合には、相続税の優遇措置が受けられます。こちらについては、

相続から、寄付までの期間は10か月以内との期限がありますので、ご確認下さい。

J.POSHは、所轄庁である大阪市より「認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）」としての認定を受けていますので、ご寄付は税制優遇措置の対象となります。

「自分が亡くなった後、財産の一部をピンクリボン基金に寄付したい」といったご相談を頂いたこともあり、また、大切な人を亡くされたご遺族から、「故人の遺産をピンクリボン啓発活動のために役立ててほしい」というお申し出を頂くこともございます。

J.POSHでは、このような尊いご意志に応えるために、必須ではございませんが、事前にご連絡を頂きますと、定期的に会報誌や報告書などをお届けすることで、活動について身近に感じて頂けるのではと考えております。

遺贈についての一般的な流れは以下の表の通りです。

一般的な遺贈のながれ

ご生前	1	遺贈内容の決定 遺言執行者の決定	遺言の内容と遺贈先となる受遺者をお決めください。また、遺言者のかわりに遺言書の内容を実行する遺言執行者をお決めください。
	2	遺言書の作成	「専門家」にご相談の上、法的に有効な遺言書をご作成ください。
	3	遺言執行者へ ご逝去の連絡	ご家族やご友人、死後事務委任契約者などの通知人から、遺言執行者にご逝去の連絡が届きます。
ご逝去後	4	遺言書の開示	遺言執行者からJ.POSHに連絡が届き、遺言の内容をJ.POSHが確認させていただきます。
	5	遺言執行と 財産の引渡し	遺言執行者が遺言書に基づき手続きを行い、指定の財産をJ.POSHに寄附します。
	6	受領証の発行	J.POSHから遺言執行者あてに受領証を発行します。お寄せいただいた財産は乳がんて悲しむ人を一人でも少なくするために大切に使用させていただきます。

事務局からのお知らせ

啓発ポケットティッシュ裏面デザインをリニューアル

"13年に作成したピンクリボン啓発ティッシュですが、"14年からの「ティッシュ配りキャンペーン」で



累計150.2万個を無償提供し、全国の皆様に配布していた事になります。この度、裏面のメッ

ティッシュの配布にご協力を頂ける皆様に販売させて頂いております。

普段使いにもご利用下さい

■発注単位：100個 ■価格20円/個(税込) ■送料200円/回

【送付依頼先】

jposh@j-posh.comにてご連絡、またはグッズパークへ



←
グッズ
パーク
へ

セージを新たな時代に合わせ刷新致しました。プレストアウェアネスという言葉は長くて覚えにくいとの声もありますが、繰り返し見聞きすることにより、もっと身近に感じて頂き、乳房を意識する生活習慣が皆様の「当たり前」になる事を願っています。

第31回日本乳癌学会学術総会とのコラボ オンラインウォーク

認定NPO法人乳房健康研究会との共催で「ピンクリボンウォーク2023」が6月1日～6月30日の1か月間のオンラインウォークになります。エントリーは4月上旬から始まります。



(左)ピンクリボンウォーク2023告知ポスター

ピンクリボンウォーク2023のサイトへは下のQRコードよりアクセスしてください



ピンクリボンNEWSあとがき

乳がんとピンクリボン運動について「誰でも気軽に受検」して頂き、それを通じて幅広い知識を身に付けてもらおうと2013年より始めた「J.POSHピンクリボン検定」は、今年(23年)でちょうど10年になります。パソコンやスマホで簡単に受検でき「入門」「基礎」「発展」の3コースがあって難易度が増していくシステムは、“挑戦意欲”が掻き立てられたという声も聞こえてきます。検定に合格後、ご希望により別途費用を申し受けて「寄付金付き合格証」を発行しておりますが、この費用は「J.POSH奨学金まなび基金」への寄付とさせていただきます。

このところ検定の受検者がコンスタントに増加しています。検定へのアクセス数を月別にみると多い月で800件台(ピンクリボン月間の10月は1000



件超)、少ない月は300件台で推移してきましたが、22年秋以降着実に1000件を超えるようになりました。増加要因は①J.POSHからの積極的な受検の呼びかけ②オフィシャルサポーター様、オフィシャルパートナー様などが従業員や周辺の方々などに受検することを勧奨一などがあげられるのではと思

います。加えて、「オンラインでのピンクリボン運動」を積極展開する伏見淳先生が立ち上げた「乳がん大事典BC Tube」とJ.POSHのコラボによる出題の相互チェック、受検呼びかけなどの相乗効果も現れてきたのではと思われます。どうぞ皆さん「試験はきらい」と言わず、一度検定ページをクリックしてみませんか。乳がんに関する知識が大きく広がり、深まることは間違いありません。(I.T)